

U.S. Indicators

発表日: 2018 年 8 月 1 日 (水)

米国 18 年 7 月 ISM 製造業景気指数

～内外需要の拡大により高水準維持～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治 (Tel: 03-5221-5001)

ISM 製造業景気指数の推移

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
17/07	56.5	61.0	60.4	55.8	49.2	56.0	54.3	61.7	57.2	56.4
17/08	59.3	61.8	62.0	59.8	55.7	57.4	56.5	61.7	56.1	54.3
17/09	60.2	64.4	61.9	58.7	52.6	63.4	56.9	71.5	56.2	53.8
17/10	58.5	63.5	61.0	59.8	48.1	60.1	53.9	68.1	55.1	54.3
17/11	58.2	63.9	64.3	59.2	47.1	56.6	54.3	64.8	56.3	54.3
17/12	59.3	67.4	65.2	58.1	48.5	57.2	54.9	68.3	57.6	56.5
18/01	59.1	65.4	64.5	54.2	52.3	59.1	56.2	72.7	59.8	58.4
18/02	60.8	64.2	62.0	59.7	56.7	61.1	59.8	74.2	62.8	60.5
18/03	59.3	61.9	61.0	57.3	55.5	60.6	59.8	78.1	58.7	59.7
18/04	57.3	61.2	57.2	54.2	52.9	61.1	62.0	79.3	57.7	57.8
18/05	58.7	63.7	61.5	56.3	50.2	62.0	63.5	79.5	55.6	54.1
18/06	60.2	63.5	62.3	56.0	50.8	68.2	60.1	76.8	56.3	59.0
18/07	58.1	60.2	58.5	56.5	53.3	62.1	54.7	73.2	55.3	54.7

(出所) ISM: the Institute for Supply Management

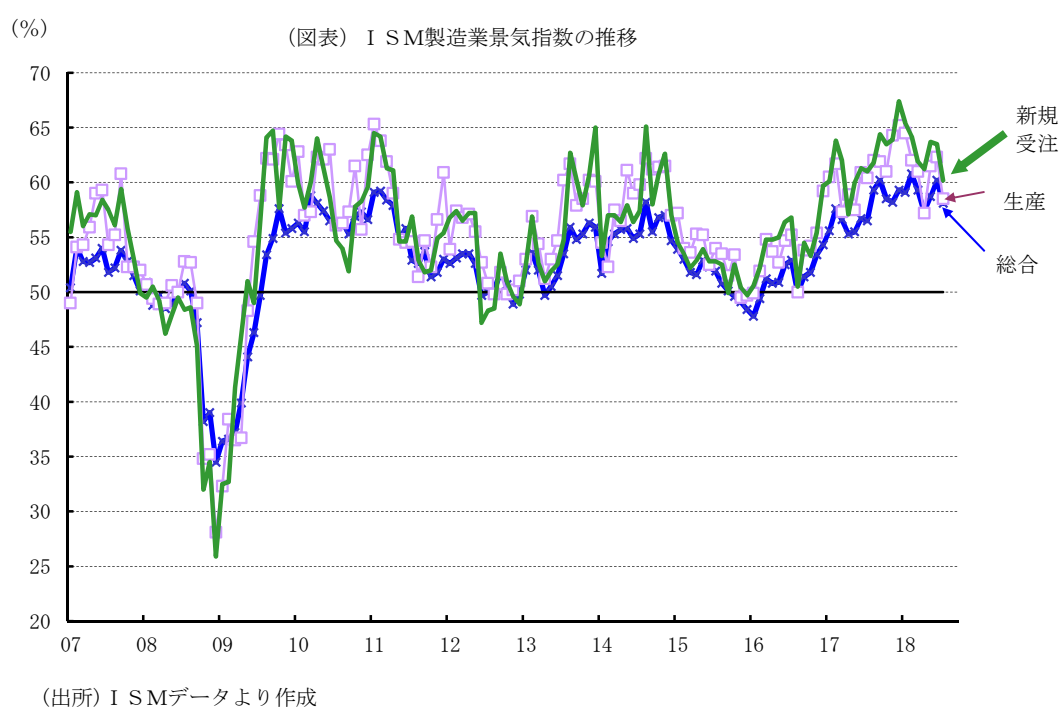
18 年 7 月の ISM 製造業景気指数 (季節調整値) は、58.1 と前月比 2.1%ポイント低下し市場予想コンセンサスの 59.4 (筆者予想 58.9) を下回った。もっとも、総合指数は高い水準を維持しており、製造業部門の好調持続を示している。米国の鉄鋼・アルミニウムへの関税賦課、それに伴う各国の対抗措置、米中貿易戦争、人手不足などの悪影響を受けながらも、国内需要の堅調さ、世界需要の拡大等を背景に、米国製造業部門の活動は活発化している。

総合指数を構成する項目では、在庫、雇用が上昇した一方、入荷遅延、生産、新規受注が低下した。構成項目別の総合指数への寄与度をみると、在庫 (前月比+0.50%p)、雇用 (前月比+0.10%p) が押し上げ寄与となった一方、入荷遅延 (前月比▲1.22%p)、生産 (前月比▲0.76%p)、新規受注 (前月比▲0.66%p) が押し下げ寄与となった。

人手不足等で入荷遅延が高水準で推移しているものの、重要項目である新規受注や生産が内外需の堅調さを映じて高い水準で推移していることから、製造業部門は当面良好な状態を維持すると判断される。一方、インフレ面では、ドル高によるインフレ抑制効果がでていものの、新規受注や生産の高い水準での拡大傾向、入荷遅延や輸入制限導入などを受けた商品価格の上昇によって、仕入価格が高い水準にとどまっており、川上でのインフレ圧力は強いままである。

総合 (全 18 業種、下線は拡大・縮小が 2 カ月以上続いたことを示す) で拡大した業種は、繊維、電気設備・部品、アパレル、コンピューター・電子機器、石油・石炭、紙製品、印刷・関連サポート活動、非鉄、一般機械、プラスチック・ゴム、その他製造業、加工金属、食品・飲料・タバコ、家具・同関連、化学製品、木材製品、輸送機器の 17 業種 (前月 17 業種) と、多くの業種で拡大しており、製造業は広がりを持った拡大を続けている。縮小した業種数はゼロ (前月ゼロ業種) だった。なお、一次金属は前月と変わらずとなった。

今後、貿易戦争の本格化、人手不足の強まり等によるコストの上昇、通商協定見直しの不透明感、中国経済の構造変化に伴う中期的な成長鈍化など、需要の伸びを抑制する要因が残存すると予想される。このようなもとで、雇用・所得・保有資産残高の増加等による個人消費の拡大が見込まれる。また、コスト削減などのための効率化投資、米国での生産能力拡大などによって、設備投資が拡大ペースを保つと予想されることから、米景気は堅調に推移するとみられる。また、海外需要は拡大モメンタムのピークアウトも緩和的な金融環境や改善の続く内需に支えられ拡大基調を維持する公算が大きい。以上より、ISM製造業景気指数は、当面現状程度の高い水準で推移すると予想される。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

